



Title	1943～1945年アメリカ軍撮影の空中写真による中国大陸のターゲット・チャート：解説と目録
Author(s)	小林, 茂; 山本, 一
Citation	近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター. 2016, 7, p. 27-44
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/60275
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

資料紹介

1943～1945 年アメリカ軍撮影の空中写真による 中国大陸のターゲット・チャート：解説と目録

山本 一・小林 茂

はじめに

中国南京付近に関する戦前・戦中期の地図および空中写真を探索するため、筆者らは 2014 年 9 月にアメリカ議会図書館（ワシントン D.C. Library of Congress、以下 LC と略記）およびアメリカ国立公文書館Ⅱ（ワシントン D.C. 郊外のメリーランド州カレッジパーク。National Archives and Records Administration、以下 NARAⅡ と略記）で調査を行った。帰国前日に議会図書館地理・地図部で資料調査を行った山本は、中国大陸東部に関するターゲット・チャートと総称される地図群を偶然発見し、急遽それらを写真に撮ることになった。翌 2015 年 3 月に再度両館を訪問した小林は、この写真と現物を照合し、そのサイズを計測して帰国し、山本とともにこの一群の地図の資料的価値を検討した。

近代東アジアにおける地理情報の収集について、小林らの一連の研究によって、日本が東アジアで行った情報収集と地図作製が明らかになっている（小林編 2009; 小林 2011）。だが、第二次世界大戦期の東アジアにおけるアメリカ・中国の情報収集については、不明な部分が多く残されている。そこで本稿では、上述の検討結果を報告し、日本軍占領地域の空中写真をもとにアメリカ軍が作製した地図類の分析を通じて、同軍が行った情報収集及びその利用の一端を明らかにすることを試みたい。以下この調査の目的、ターゲット・チャートが作製された背景、さらにターゲット・チャートに関連する資料について紹介し、末尾に目録を掲載する。

1、調査の背景と目的

筆者らが南京周辺地域に関心を集中する背景については、大坪ほか(2007)、片山(2013)、さらに山本(2015)などを参照していただきたい。南京の中心部と郊外で 1930 年代以降進行した土地所有や土地利用の変動を追跡する研究（片山 2015）が構想されたのは、中華民国の首都であったこの地域には、各種の文献資料に加えて、多彩な地図や空中写真が残され、他の地域では容易に行えない調査が可能になると判断されたからであった。各種の地図や空中写真を参照しつつ、地籍関係の資料を解読することによって、この時期の都市社会の変動を微細なレベルで捕捉できる可能性が予想された。

各種資料は、上記の報告に記載されているように、南京市の各種機関や台北の国史館に多く収蔵されており、これらが基本資料になることはあらためて指摘するまでもないが、アメリカ国立公文書館蔵の空中写真に関心を持ったのは、それまでの同館での小林らの調査によって、戦中・戦後期のアメリカ軍の偵察写真や 1960 年代に U-2 機によって撮影された空中写真が入手できるという見通しがあったからであった。アメリカ軍は 1929 年に南京

で最初の空撮を行うだけでなく、1937年12月以降日本軍の拠点となった南京を何度も偵察し、その写真が残されているほか、1960年代には中国（台湾）人パイロットが操縦するU-2機がくりかえし中国大陸を撮影し、南京もその目標とされていたことが判明していたのである（Pedlow and Welzenbach 1992: 226-227）。

こうした空中写真を探索し、そのネガフィルムを写真撮影するほか、とくに重要なものについては、現地の業者にスキャンを依頼して高解像度の画像をすでに入手している。ただしその分析を開始してみると、とくに戦時期のものでは撮影対象が限定されていることが明確であった。

南京を撮影する各フライトの写真を並べてみると、それぞれの飛行コースを推定することができる。これらを比較すると、同じようなコースが繰り返して採用されていることがあきらかである。このためたとえば、片山らの調査対象の一つである江心洲（南京市に含まれる揚子江の中洲）の北東部分については繰り返し撮影が行われているが、南西部分を撮影した写真で大縮尺のものはほとんどない（山本 2015）。偵察写真という性格から、その対象となった軍事施設や交通運輸施設を中心に撮影していることはあらためていうまでもないが、具体的にどの施設が目標になっていたかは写真だけではわからず、他の適切な資料がないか、と思われていたところであった。山本が発見したターゲット・チャートには、幸い南京のものも含まれており（図 1）、これによって、偵察撮影の目標がはっきりと確認でき、さらには撮影ルートの背景も推測できることになった。

当面の南京付近の検討のためにはこれで充分であるが、同時に中国大陸の他に地域について作製されたターゲット・チャートもそれぞれの地域の空中写真の探索や分析に便利な指標になることが予想された。ターゲット・チャートに掲載された地域が、アメリカ軍によって攻撃目標と考えられていたことは明らかであり、またターゲット・チャートが作製されているということは、その地域の空中写真がある（あるいはあった）ということを示している。さらに上記のように、その撮影が各地域の何を目標に行われたかも明確であり、空中写真の分析にも欠かせない。これらの目録や分布図（後掲）を作製しておくことは、第二次世界大戦期の軍事史だけでなく、空中写真を活用した各種研究にも有用と考えられたわけである。

2、ターゲット・チャート作製の背景

つぎにターゲット・チャートがどのような部隊によって、どのような目的を背景に作製されたか、さらにはどの飛行場から発進してそれに必要な空中写真が撮影されたかについて検討したい。

第二次世界大戦中の中国大陸におけるアメリカの航空戦力については変遷があり、「フライング・タイガーズ」で有名なアメリカ義勇航空隊（American Volunteer Group: AVG）に始まることは、その創設に努力し、以後も中国で活動した Claire Lee Chennault

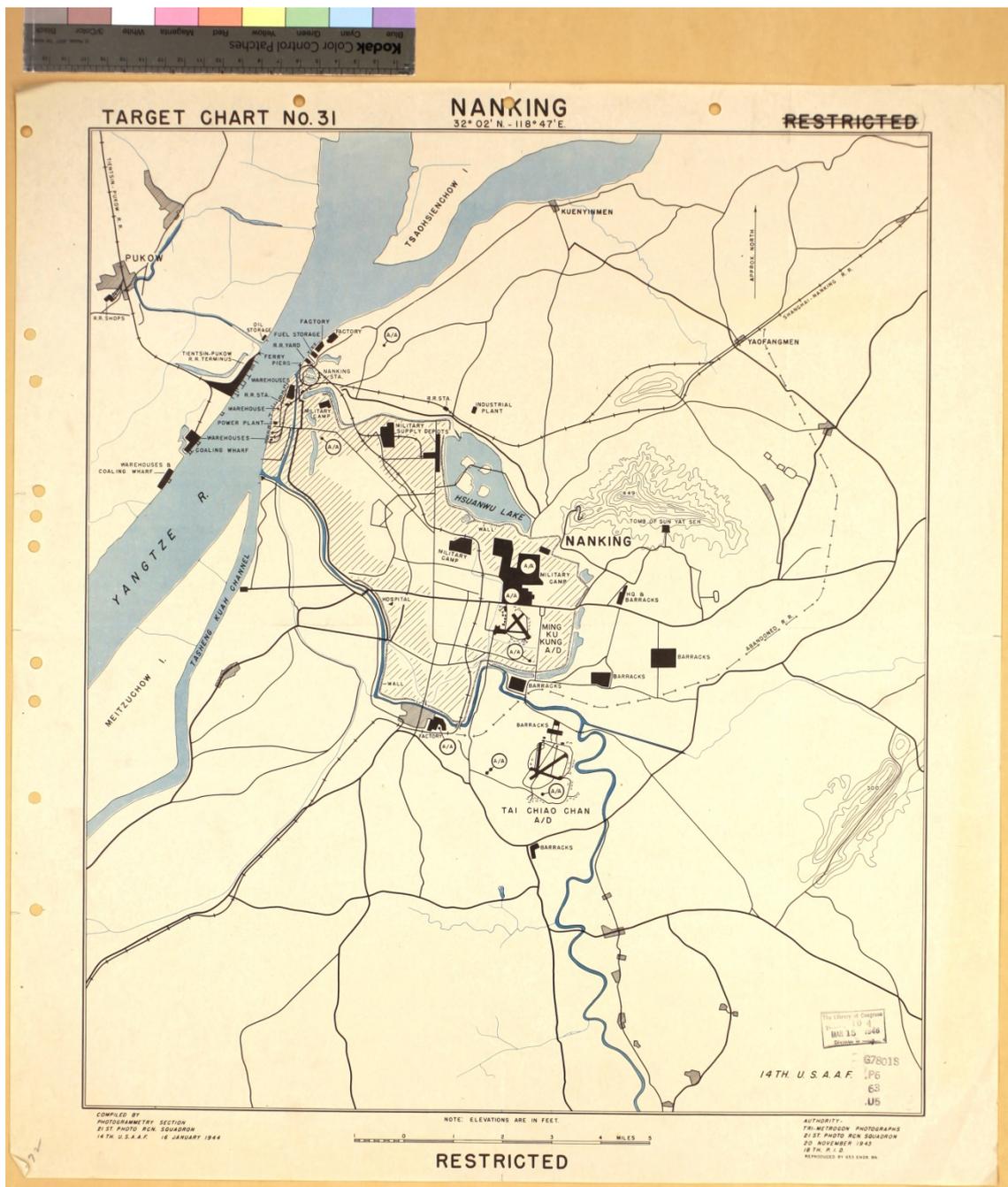


図1：南京のターゲット・チャート

(1943年11月20日撮影の空中写真にもとづき、1944年1月11日合衆国陸軍第14航空軍、第21写真偵察中隊、写真測量班編集) 江心洲は図の左端中央

(1983-1958)¹の役割とともに日本でも広く紹介されている(吉田 1998; 中山 2008: 12-308; 菊池 2009: 182-209)。同軍は1941年8月1日に正式に成立したが、日本の第二次世界大戦参戦以降、アメリカ軍に編入されることとなり1942年7月4日に中国空中特遣部

¹ 彼の姓は日本では「シェンノート」と表記されることが多いが、今井(2000)は「シェノー」としている。

隊 (China Air Task Force: CATF)²となった。ただしこの編入に際し、隊員の多くは交代したという。

中国空中特遣部隊は、そのご増強して 1943 年 3 月 10 日にアメリカ陸軍の第 14 航空軍 (Fourteenth Air Force) に編成された³。日本軍のビルマ (ミャンマー) 侵攻後、中国に対する連合軍の支援はインドからの空輸に依存することになり、同軍が飛行機を含む兵器や燃料の不足に悩まされたことは各書で強調されている。

ところで、後掲の目録に示しているようにターゲット・チャートの多くには、作製にあたってそのもとになった空中写真の撮影時期が明記されている。この最も早い場合は 1943 年 8 月 19 日で、第 14 航空軍が編成されたあととなる。インターネットでみられる第 14 航空軍を構成する部隊の履歴によれば、このころの同軍には二つの写真偵察中隊が属していた⁴。その一方の第 21 写真偵察中隊 (21st Photographic Reconnaissance Squadron) は、1942 年 7 月 14 日に編成されている。アメリカではコロラド・スプリングスに駐屯していたが、1943 年 6 月 27 日にインドの Bishunupur、同 8 月 22 日に中国の昆明に移駐した。上記の最も早い写真撮影は、この昆明への移駐より早いことになるが、その詳細をみると同隊は 1943 年 7 月 12 日～8 月 22 日には昆明から、また 1943 年 7 月 12 日～1944 年 9 月 12 日までは桂林からも飛行を行ったとされており⁵、上記の移駐の時期はその本隊の移動日を示すものと考えられる。ともあれ、第 21 写真偵察中隊は、中国大陸到着後すぐに偵察活動を開始したことが明らかである。なお同隊は 1945 年 5 月 14 日に Shwangliu に移駐し、さらに 10 月 18 日～12 月 15 日ころは漢口に駐留したが、その後はアメリカに帰還したようである。

もう一つの隊はもともと第 123 偵察中隊などと呼ばれていたが、1943 年 8 月 11 日に第 35 写真偵察中隊となり、当初はカリフォルニアにいたが、1944 年の 6 月 13 日にインドの Guskhara、同 9 月 1 日に中国の昆明に移駐し、以後 Chanyi、Luliang と移動したが、1945 年 11 月にはアメリカに帰還している。

以上からターゲット・チャートの資料となった空中写真の撮影はほとんどを第 21 写真偵察中隊が行っている事情が理解されるが、同中隊の中国移駐以前に作製されていた図もあることに留意しておきたい。

なお、筆者のうち小林は甲南大学の鳴海邦匡とともに九州北部地域のターゲット・チャートを調査しており、これまで調査したものはやはり第 21 写真偵察中隊撮影であることが注目される。

また近刊の Clark (2015) は、第 35 写真偵察中隊の隊員によるもので、その活動を紹介

² 日本では China Air Task Force という隊名は「中国空軍機動部隊」(吉田 1998: 149)、「駐華特遣隊」(菊池 2009:186) などと訳されている。ここでは在成都アメリカ領事館のホームページの記載によった。
<http://chengdu.usembassy-china.org.cn/galleries/wwii-in-the-air/gallery-in-the-air-14th-10th-airforce.html>

³ 公式戦史によれば中国空中特遣部隊が第 14 空軍に編入されたのは 4 月 24 日という (Craven and Cate eds. 1950: 440)。

⁴ http://www.cbi-history.com/part_ib.html

⁵ 桂林からの飛行が 1944 年 9 月までとなっているのは、後述の日本軍の「一号作戦」によって桂林が占領されたからと考えられる (吉田 1998: 244 も参照)。

して興味深い、同中隊の偵察対象はおもにビルマや雲南で、中国東部での偵察活動は登場しない。ただし、時々行われたという Trimetrogon photograph の撮影についての簡単な解説を付している (Clark 2015: 76)。これは三つのカメラにより、垂直撮影のほか、水平線より 30 度下向きカメラ (左右一つずつ) による斜め写真でカバー範囲を両側に拡大する⁶。ターゲット・チャートの注記にみられる Trimetrogon photograph はこのように広域をカバーする写真であることがわかる。くわえて Clark は、爆撃による損害を推定するのに用いられた焦点距離の長いカメラによる写真撮影を紹介して、彼の偵察活動ではこれをよく使用したとしている。爆撃後は大縮尺の写真が撮影されたことがわかり、今後の空中写真探索の参考になるので付記しておきたい。

関連してもう一つ付記しておきたいのは、第 14 航空軍の東方での動きである。同軍発足後は、日本の航空戦力と対峙しながら、揚子江や中国近海の日本の輸送船を攻撃するほか、1943 年 11 月 25 日には台湾の新竹飛行場の空爆も実施した。これに際しては事前に空中偵察を行って、江西省の遂川 (Sui-chuan) の飛行場から発進している。他方日本軍の長沙方面への南下に関連して、衡陽 (Hengyang) や零陵 (Lingling、現在は永州市の市轄区) の飛行場が空襲を受けることもあった (Craven and Cate eds. 1950: 518-545)。

1944 年になると、中国本土の飛行場から発進する飛行機による日本本土空襲を予防することを目的の一つとして、日本軍の「一号作戦」(通称「大陸打通作戦」)が行われ、第 14 航空軍の拠点であった衡陽や零陵、桂林のような飛行場が奪取された。ただしこの間は、アメリカ側の航空戦力が圧倒し、日本の制空権が失われていたとされる (吉井 2014)。その間にもターゲット・チャート作製の資料となった偵察写真の撮影が順次進んだのは、アメリカ側の制空権を背景としていたと考えられる。

なおこの間大型爆撃機 B-29 で遠隔地を空爆しようとするマッターホーン作戦が開始され、中国本土では成都付近にそのための飛行場が整備された。1944 年 6 月 15 日の八幡製鉄所爆撃以降、九州や台湾、中国本土の製鉄所や製鋼所、兵器工場、空港、港湾の爆撃が第 20 航空軍の第 20 爆撃機集団 (XX Bomber Command) によって行われた (工藤・奥住 2008:15-36)。爆撃後の八幡については、6 月 18 日に第 14 航空軍の偵察機が空撮したとされているが、これはおそらく第 21 写真偵察中隊が担当したものであろう。

この長距離爆撃はただし、インドからの空輸物資に支えられたものであり、マリアナ諸島から B-29 を発進させて日本本土を空爆することが可能になるとともに不必要と考えられるようになって、1945 年 1 月で終了した。ただし、1944 年 12 月 18 日には、第 14 航空軍の Chennault の勧めによって、日本軍の拠点であった漢口の爆撃が行われた。(Craven and Cate 1953: 92-175; 今井 2000)。

3. 在米の第二次世界大戦期作製、中国関連地理空間資料

LC 及び別に調査した NARA II で収集した、第二次世界大戦期の中国関連地理空間情報資料は大きく①空中写真ならびに基本的にそれをもとにして作製された②ターゲット・チャ

⁶ 工藤・奥住 (2008: 43) も参照。

一トに分類される⁷。以下それぞれについて紹介していきたい。

① 空中写真

アメリカ軍が1929年以降南京について撮影した空中写真については、その概略を既に紹介している（山本 2015: 15-16）⁸ため、ここでは第二次世界大戦期の1943～1945年に撮影されたものを中心に紹介する。

NARA II で閲覧可能なアメリカ軍撮影の空中写真は膨大である。参照すべき空中写真を探索するには、まずその撮影した地域からアプローチするのが普通で、3階の地図学・建築学セクション（Cartographic and Architectural Section、仲本（2008: 164-171）では「図面資料の閲覧室」と表記）で、「標定図」を見る必要がある。これは経度1度、緯度1度の範囲で各フライトにより空撮された範囲を図示するもので、現在はマイクロフィルムに収められている。このため、目標とする地域の経緯度を確認しておき、まずその経緯度の部分の標定図がおさめられているリールを探す必要がある。リールが見つかったら、つぎに当該の経緯度部分については、1フライトにつき1枚の図がその空撮部分を示している。これは年代順に配列されており、それを参照しながら、必要な部分を特定する必要がある。撮影範囲が当該経緯度を広くカバーするフライトは希で、多くの場合はそのごく一部をカバーするに過ぎないので、目標とする地域（この場合では南京）がカバーされているかどうか、一つ一つ判断する必要がある。

この作業によって、第二次世界大戦期に南京を撮影したことがわかるアメリカ軍のフライトは17あることがわかる（表1参照）。この場合、各フライトの目標は必ずしも南京に限られるわけではないと考えられる。関係フライト全部を精査していないが、他の地域も同じフライトで撮影していたと考えられるものもみられる。

ともあれ中華民国の首都であった南京は、1937年から日本の占領下におかれ、飛行場や揚子江に面した港湾もあり、1940年からは汪兆銘政権の首都であったため、アメリカ軍も相当な関心を寄せていた。また関連して、1944年4月から日本軍が大陸打通作戦を実施した理由のひとつは、前述のように中国における十分な制空権を維持できないので、地上戦によって中国南方の飛行場を制圧することであったことも想起される。1943年に南京の空撮が始まり、1944年8月から大縮尺写真の撮影が可能になった背景には、アメリカ軍が制空権を握り、撮影に際して日本の攻撃をそれほど気にすることが無かった可能性も考えられる⁹。

なお南京は、戦後も1945年11月20日、さらには中華人民共和国成立後の1950年10月31日に撮影されていることも興味深い。これらの空撮がアメリカの対中政策のなかでどのように位置づけできるか、今後の課題としたい。

⁷ これ以外に、飛行場のアルバム、上海・広東のモザイク写真を実見したが、まだその詳細が不明であるため、今回は扱わない。

⁸ また戦後のU-2機による空中写真撮影については（佐藤・鳴海・小林 2014）を参照。

⁹ 大縮尺の撮影が可能になった理由には、カメラ等の機材の進歩も考えなければならないが、機材に関する資料は未見のため、ここでは可能性を指摘するに留める。

表 1 : アメリカ軍撮影の南京空中写真リスト

	年	月	日	縮尺 (分母のみ)	
1	1943	8	7	61000	
2		11	20	66400, 33200	
3	1944	8	17	16000	
4			25	15500	
5			31	60000	
6		11	16	varies	
7		12	27	15000	
8	1945	3	25	60000	
9			28	63600	
10		4	11	TV36=27000 (54000) , 37-43=26000 (56000) 14500 etc	
11			26	62000	
12		5	17	60000, 15000	
13			21	53000, 14500	
14			30	8200	
15			6	3	15500
16			7	21	14000
17			8	2	11000, 6200
18	11		20	16000	
19	1950	10	31	25000	

なお図 1 に示した南京のターゲット・チャートには 1943 年 11 月 20 日の撮影とあり、図 2 に示す空中写真をもとに作成されたと考えられる。この写真は、小縮尺で図 1 の図示範囲を 1 枚でほぼカバーしている。

② ターゲット・チャート

ターゲット・チャートにうつりたい。ターゲット・チャートは LC 及び NARA II に幾種類も大量に所蔵されており、その全容はこれからの調査に委ねられるが、ここでは日本占領下の中国諸地域のものについて述べたい。

収集したターゲット・チャートは、その地図の形式から大きく 2 種類に分かれる。一方は主に 1942 年末～1944 年 8 月までに作製されたものである(表 2)。この種のターゲット・チャートには南京を対象にするものがないので、以下では上海のものを例に説明する。



図2：1943年11月20日撮影の南京市空中写真

写真の左上は揚子江。その下（南）に南京市街がひろがり、その南東寄りには明故宫飛行場の滑走路が写っている。

編集機関は全て The U.S. Coast and Geodetic Survey (合衆国沿岸測地測量局) である。大きさは概ね縦 73.5cm、横 55.8cm で、数色のカラーで印刷されている。両面刷りの場合、縮尺は 1:125,000～180,000 と小縮尺の広範囲を描くものと、より対象地域を詳細に描いた 1:7500～1:36,000 ほどのものが各面に印刷されている。

広範囲を図示する地図の中心には点線で四角く囲まれた地域があり、その裏面ではこれの地域が拡大されている。以下、前者を表面、大縮尺の詳細な後者を裏面とする。1943年12月以降のものは全て Second Edition とあり、再版されたものと考えられる。さらに我々が収集しえたターゲット・チャートは海南・天津・満洲国東部・広東・漢口・大連・上海・

と考えられる。

ターゲット・チャートの表面、例えば表2中の「ターゲット・チャート No.124 (Shanghai AREA)」を例にすると、「このチャートの補足として、以下の機首方位で構成された遠景図がある：60°、120°、200°、270°、350°¹⁰」とあり、図3に示したものは、この細長いターゲット・チャートとセットで利用するものであることがわかる。そしてこの細長いターゲット・チャートは標的の地域に向かって飛行する際、操縦者がどの方角から接近していても直感的かつ視覚的に目的地を識別するのに利用されたと考えられる。日本占領下の中国の拠点地域の中でも特定の目標を攻撃・爆撃するための地図であったとみてよい。

またこれらのターゲット・チャートがどのような資料をもとに作製されたのかに関して、表2中の CHINA NO.78 及び 79 の中にそれぞれ以下のような”SOURCE”の記述がある。

AAF TARGET CHART CHINA NO.78 SOURCES

1. Japanese Hydrographic Charts 379, 1:75,000 (1940), and 376, 1:100,000 (1938). Accurate surveys (coastline, port, and geodetic positions).
2. Kiaotschon Survey (German) 1:50,000 (1904). Accurate survey (base map in peninsula area).
3. Chinese General Staff Land Survey 1:50,000 (1928-36). Sketchy survey (base map in outlying areas).
4. Chinese General Staff Highway Map 1:4,000,000 (1939) (roads).

¹⁰ Supplementing this chart is a set of perspectives constructed on the following headings: 60°, 120°, 200°, 270°, 350°.

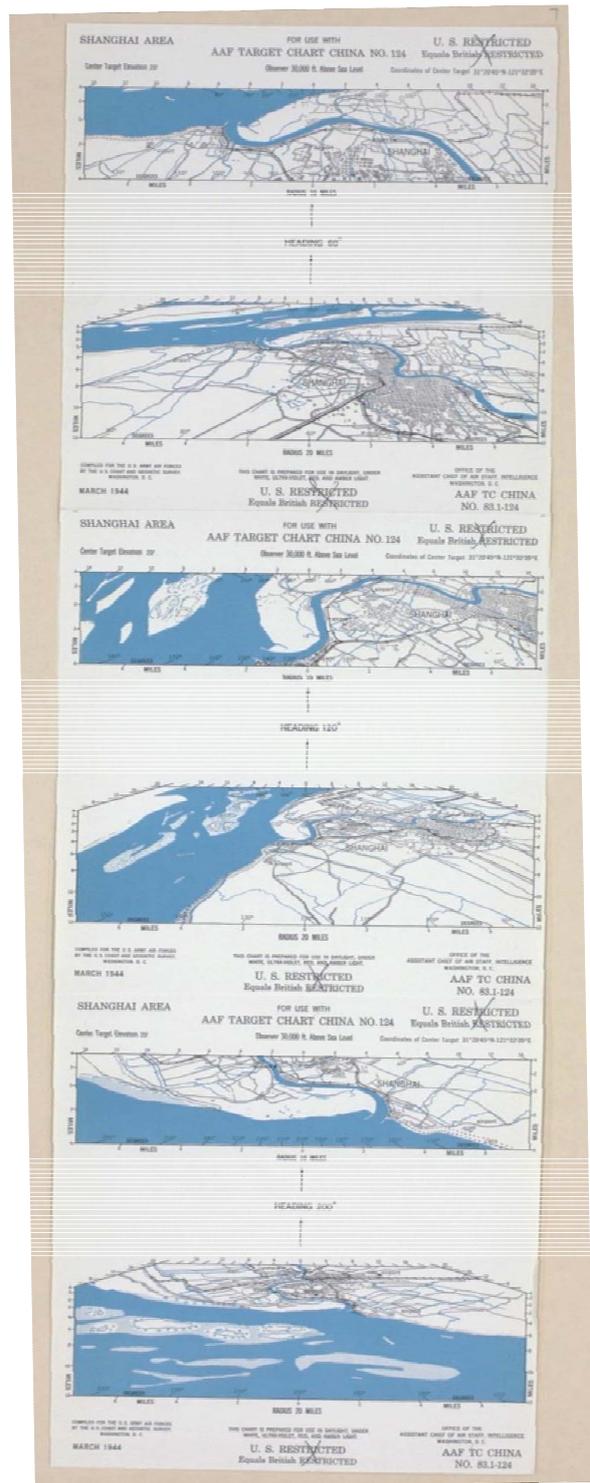


図4：細長いターゲット・チャート（上海）

5. N. China Aviation Atlas, Shell Oil Co. (1937) (airport) .

AAF TARGET CHART CHINA NO.79

SOURCES

1. Japanese Hydrographic Charts 388, 1:180,000, inset of port 1: 30,000 (1939) .
Accurate survey (coastline, port, and geodetic positions) .
2. Chinese General Staff Land Survey 1:50,000 (1928-36) . Sketchy topographic survey
(inland base map) .
3. Sketch map of Haichow and coast, Off. American Military Attache, 1:100,000 (1936) .
Sketch map (base around Haichow)
4. Chinese General Staff Highway Map 1:4,000,000 (1939) (roads) .
5. New China Atlas, ed. V. K. Ting (1939) (roads, city plans)
6. Various oblique photos (1937) (details of port and town) .

以上からこれらのターゲット・チャートは日本製の海図、ドイツや中国の測量図、中国の交通図などをもとにしており、さらに No. 61 は 1937 年に撮影された空中写真（ただし斜め写真）をも参照したことが分かる。ここで利用された空中写真は、港と市街地の詳細を描くためのものと考えられる。

なお表 2 の CHINA NO.47 以下の備考にある”AAF TC CHINA NO.”につづく、”83.4-47”などの数字がもつ意味についてさらに触れておきたい。数字のうち”83”は中国にあてられた地域番号で、つづく番号はその一部をさす。上記の”83.4”は広東地域、”83.1”は上海地域にあてられている。これらの番号のさす地域はこの種のターゲット・チャートを分類するものと考えられ、”Joint Target Group Washington, D.C.”と題された東アジア図（国会図書館デジタルコレクションの米国戦略爆撃調査団文書：空襲目標情報[Entry 47]に掲載¹¹）に図示されている。以上の地域番号につづく番号は、ターゲットの番号となる

こうした地域の設定や番号の付与は、アメリカ軍が爆撃目標を詳細に把握し、分類し、それに関する地理空間資料を収集・整理していたことを示している。

続いて紹介するのは、1943 年末～1945 年 7 月までに作製されたターゲット・チャートである（表 3）。冒頭に挙げた図 1 は、このターゲット・チャートのグループに属している。図 3 で紹介したものと比較すると、地図の内容が簡潔であることが分かる。これらは全て LC に所蔵されている。大きさは縦約 55 cm×横約 50 cm でほぼ統一されているが、横長のものも見られる。縮尺は 1: 63,360=1 インチ 1 マイルで統一されており、1: 25,000 のものが裏面に描かれたりする場合もある。撮影機関の記載がある場合は、ほとんどがすでに触れた第 21 写真偵察中隊 (21st. Photo Rcn. Squadron) であり、第 20 爆撃機集団 (XX Bomber Command) [TC No. 218, 200, 254, 255, 256] や第 35 写真偵察中隊 (35st. Photo Rcn.

¹¹ <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/4011028>

Squadron) [TC No. 264] も見られる。編集機関も多くが第 21 写真偵察中隊であり、第 35 写真偵察中隊と合同で編集している場合もみられる。なお、948th Engr. Avn. Topo. Co (948th Engineer Aviation Topographic Company) や 4th. Photo Technical Unit という部隊もみられるが、その詳細については今後さらなる調査を進めたい。

以上、空中写真とターゲット・チャートを紹介したが、**図 1、2**のターゲット・チャートと空中写真の日付の一致から関係から考えて、これらが密接な関係にあったことは明らかである。アメリカ軍は日本占領下にある中国諸地域への爆撃のために空中写真を撮影し、それを分析してターゲット・チャートを作製した。ターゲット・チャートが爆撃にどれほど利用されたのかは現在のところ不明であるが、空中写真をまだ撮影できない時期から様々な種類の地図をもとにターゲット・チャートを作製していたことから、戦略上のターゲット・チャートの重要性は推測できよう。

ところで、以上のようなターゲットの分布を示したのが**図 5**となる。ターゲット・チャートに示された経緯度をもとに図示している。日本軍の占領していた華北と南東部海岸部に多く、南部の内陸部は少ない。後者の地域のターゲットには湘潭 (161) や長沙 (113A) のように、1号作戦で日本軍に奪取された地域も含まれていると考えられる。さらにこの分布をクロノロジカルに分析する必要があるが、アメリカ軍の偵察写真の分布を大きく俯瞰するデータとして利用されることを望みたい。

おわりに

以上、2014年9月に山本が発見したターゲット・チャートについて概要と特色を示した。第二次世界大戦期の空中写真や地図類は、すでに作製されてから70年以上が経過し、今日では各種の図書館や文書館にアーカイブとして収蔵されている。この種の資料には、十分な整理が施され、利用の容易なものもある一方で、閲覧のためには、容易とはいえ探索活動を要するものも少なくない。筆者らはLCやNARA IIでの数次にわたる調査を経て、ようやく資料の本格的な解析に着手できるようになった。

この時期の資料はアメリカ軍や日本軍という巨大組織が作製したものだけに、量的に膨大なだけでなく、複雑な構成をもっている。この種の資料は、そうした性格のためにか、中国の歴史研究や地域研究にはあまり利用されずに経過してきたが、その利用のためには、アーカイブでの収蔵状況だけでなく、作製過程を含めた基本的特色を把握しなければならない。本報告は米軍撮影の戦時期空中写真の探索のためだけでなく、この種の資料の学術的利用に向けた基礎作業であることもあわせて理解していただくことを希望したい。

参考文献

- 今井清一 2000. 「成都基地の B29 の対日爆撃とその環境」 近きに在りて 37: 5-19.
大坪慶之・山本一・片山剛・荒武達朗 2007. 「台湾収集の地形図および地籍図について：その分析・活用と資料的価値」 近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター 2: 121-140.

- 片山剛 2013. 「20 世紀前半、長江中洲の開発をめぐる社会史：南京江心洲の場合」 森時彦編『長江流域社会の歴史景観』京都大学人文科学研究所, 103-126.
- 片山剛ほか 2015. 「科研チーム研究報告：1930～40 年代、南京不動産登記事業について：登記文書と地籍図（索引図・戸地図）を利用した研究の可能性」近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター 6: 4-98.
- 菊池一隆 2009. 『中国抗日軍事史：1937-1945』有志舎.
- 工藤洋三・奥住喜重 2008. 『写真が語る日本空襲』現代史料出版.
- 小林茂編 2009. 『近代日本の地図作製とアジア太平洋地域：「外邦図」へのアプローチ』大阪大学出版会.
- 小林茂 2011. 『外邦図：帝国日本のアジア地図』中央公論新社（中公新書 2119）.
- 佐藤廉也・鳴海邦匡・小林茂 2014. 「アメリカ公文書館蔵、U-2 機撮影の中国大陸空中写真画像について」近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター 5:79-84.
- 仲本和彦 2008. 『研究者のためのアメリカ国立公文書館ガイド』凱風社.
- 中山雅洋 2008. 『中国的天空、下』大日本絵画.
- 山本一 2015. 「南京関係地里空間情報の紹介と利用の可能性」近代東アジア土地調査事業研究ニューズレター 6: 4-22.
- 吉井研一 2014. 「大陸打通作戦の意義」環日本海研究年報（新潟大学）21:1-18.
- 吉田一彦 1998. 『1941.12.20 アメリカ義勇航空隊（フライング・タイガース）出撃』徳間書店（徳間文庫）.
- Clark, A.W. 2015. *Eyes of the Tiger: China 1944-1945*. Chapel Hill, North Carolina: Arthur W. Clark.
- Craven, W.F. and Cate, J.L. eds. 1950. *The Pacific: Guadalcanal to Saipan August 1942 to July 1944 (The Army Air Force in World War II, Volume 4)*. University of Chicago Press.
- Craven, W.F. and Cate, J.L. eds. 1953. *The Pacific: Matterhorn to Nagasaki June 1944 to August 1945 (The Army Air Force in World War II, Volume 5)*. University of Chicago Press.
- Pedlow, G.W. and Welzenbach, D.E. 1992. *The Central Intelligence Agency and Overhead Reconnaissance: The U-2 and Oxcart Programs, 1954-1974*. Washington, D.C.: Central Intelligence Agency.

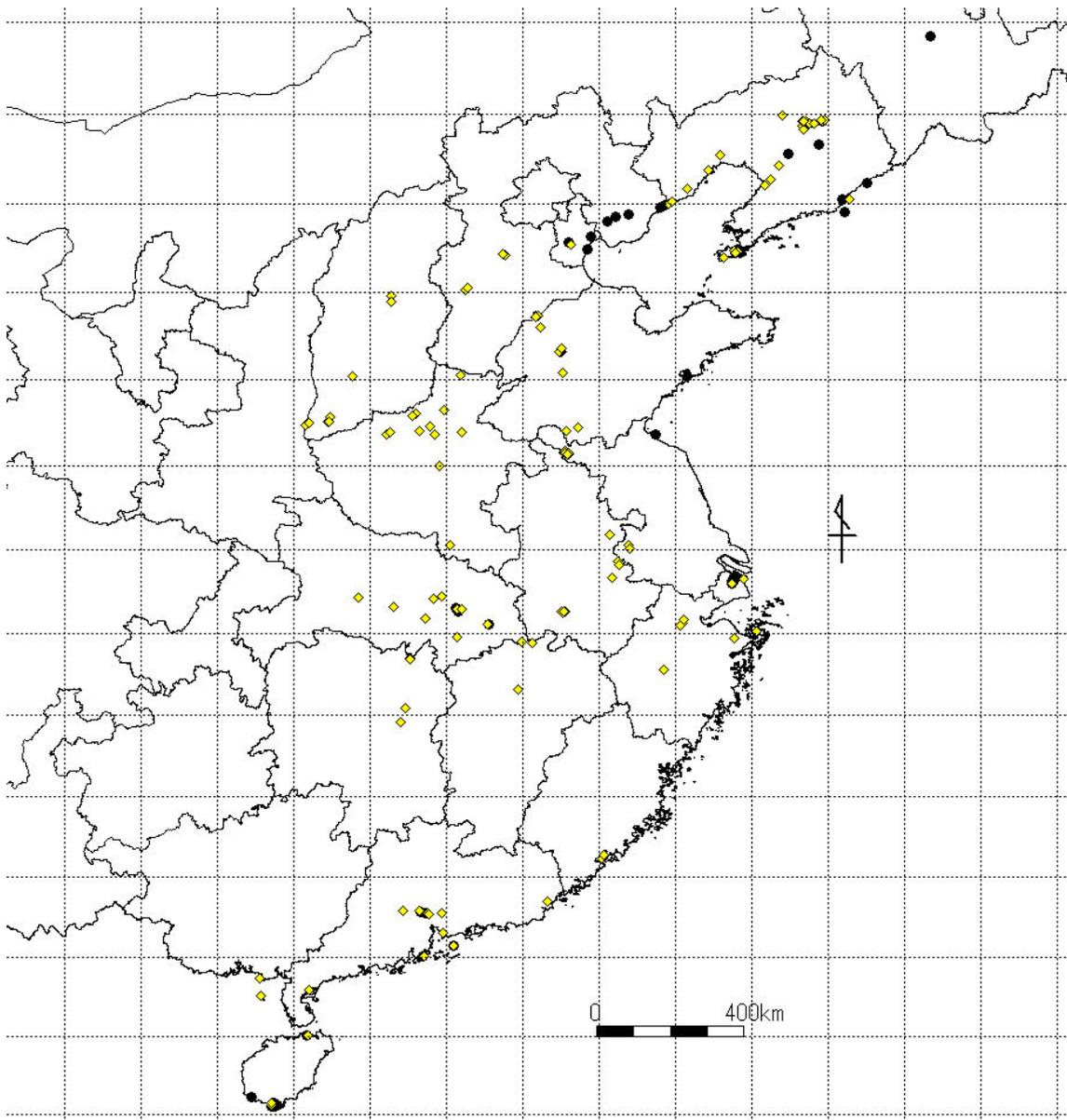


図5：ターゲット・チャートの分布図

●が表2のターゲット・チャート、◇が表3のターゲット・チャートの位置を示している

緯線：一番下が北緯18度、上が北緯44度

経線：一番左が東経103度、右が東経130度

経緯線ともに2度ごとに示している

表2. ターゲット・チャート目録1

ターゲット・チャート No.	対象地域	漢字名	緯度(N) 度 分	経度(E) 度 分	緯度(N) 度 分	経度(E) 度 分	縮尺 (分)	編集時期 年 月	所属機関	備考
CHINA NO. 32	HAINAN AREA	海南地域	18 29	109 42	17 55	109 42	7	195000	12/NARA	
CHINA NO. 33	HAINAN AREA	海南地域	18 29	109 48	17 55	109 48	12	125000	12/NARA	
CHINA NO. 4	TIENSIN AREA	天津地域	39 16	118 2	38 42	117 20	25000	1943	2/LC	NARAIにも所蔵あり、NARA所蔵のものには細TCあり。
CHINA NO.4	TIENSIN AREA	天津地域	40 0	118 48	39 26	118 4	125000	1943	2/LC	上記の裏、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.34	TIENSIN AREA	天津地域	39 54	118 34	39 20	117 50	125000	1943	2/LC	NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.35	TIENSIN AREA	天津地域	40 3	119 8	39 29	118 24	125000	1943	2/LC	上記の裏、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.35	TIENSIN AREA	天津地域	40 3	119 8	39 29	118 24	125000	1943	2/LC	上記の裏、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.38	TIENSIN AREA	天津地域	40 16	120 7	39 42	119 20	25000	1943	2/LC	NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.40	TIENSIN AREA	天津地域	39 16	121 59	38 42	121 16	125000	1943	2/LC	上記の裏、NARAIにも所蔵あり。
MANCHUKUO NO.19	DAIREN AREA	大連地域	43 59	127 4	43 25	126 17	125000	1943	2/LC	上記の裏。
MANCHUKUO NO.19	DAIREN AREA	大連地域	43 59	127 4	43 25	126 17	125000	1943	2/LC	上記の裏。
MANCHUKUO NO.65	MANCHUKUO EAST AREA	滿洲国東部地域	40 46	125 23	40 12	124 40	125000	1943	2/LC	
MANCHUKUO NO.66	MANCHUKUO EAST AREA	滿洲国東部地域	40 6	124 48	39 32	124 4	125000	1943	2/LC	
MANCHUKUO NO.85	MANCHUKUO EAST AREA	滿洲国東部地域	40 6	124 48	39 32	124 4	125000	1943	2/LC	
CHINA NO.47	CANTON AREA	広東地域	23 26	113 37	22 51	113 0	25000	1943	6/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.4-47とあり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.47	CANTON AREA	広東地域	23 26	113 37	22 51	113 0	25000	1943	6/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.4-47とあり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.51	CANTON AREA	広東地域	23 23	113 45	22 49	113 8	125000	1943	6/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.4-51とあり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.51	CANTON AREA	広東地域	23 23	113 45	22 49	113 8	125000	1943	6/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.4-51とあり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.52	CANTON AREA	広東地域	22 18	113 40	21 44	113 4	125000	1943	6/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.4-52とあり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.52	CANTON AREA	広東地域	22 18	113 40	21 44	113 4	125000	1943	6/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.4-52とあり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.62	CANTON AREA	広東地域	30 30	115 26	29 56	114 47	180000	1943	11/NARA	NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.115	HANKOW AREA	漢口地域	30 48	114 38	30 14	113 59	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-115とあり、細TCあり。
CHINA NO.115	HANKOW AREA	漢口地域	30 48	114 38	30 14	113 59	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-115とあり、細TCあり。
CHINA NO.30	HAINAN AREA	海南地域	20 19	110 37	19 44	110 1	180000	1943	12/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.6-30とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.30	HAINAN AREA	海南地域	20 19	110 37	19 44	110 1	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.6-30とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.31	HAINAN AREA	海南地域	18 35	109 45	18 1	109 0	180000	1943	12/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.6-31とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.31	HAINAN AREA	海南地域	18 35	109 45	18 1	109 0	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.6-31とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.140	HANKOW AREA	漢口地域	30 53	114 35	30 19	113 55	180000	1943	12/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-140とあり、細TCあり。
CHINA NO.140	HANKOW AREA	漢口地域	30 53	114 35	30 19	113 55	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-140とあり、細TCあり。
CHINA NO.141	HANKOW AREA	漢口地域	30 48	114 38	30 14	113 59	180000	1943	12/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-141とあり、細TCあり。
CHINA NO.141	HANKOW AREA	漢口地域	30 48	114 38	30 14	113 59	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-141とあり、細TCあり。
CHINA NO.143	HANKOW AREA	漢口地域	18 44	109 10	18 10	108 34	180000	1943	12/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-143とあり、細TCあり。
CHINA NO.143	HANKOW AREA	漢口地域	18 44	109 10	18 10	108 34	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-143とあり、細TCあり。
CHINA NO.143	HAINAN AREA	海南地域	18 31	109 51	17 56	109 16	180000	1943	12/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-143とあり、細TCあり。
CHINA NO.143	HAINAN AREA	海南地域	18 31	109 51	17 56	109 16	180000	1943	12/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-143とあり、細TCあり。
CHINA NO.146	HAINAN AREA	海南地域	40 12	119 36	39 38	119 15	180000	1944	1/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.12-26とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.26	TIENSIN AREA	天津地域	22 35	114 30	22 1	113 53	180000	1944	1/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.12-26とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.26	TIENSIN AREA	天津地域	22 35	114 30	22 1	113 53	180000	1944	1/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.12-26とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.55	CANTON AREA	広東地域	40 24	124 45	39 50	124 0	180000	1944	1/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.4-55とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO.55	CANTON AREA	広東地域	40 24	124 45	39 50	124 0	180000	1944	1/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.4-55とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 72	MANCHUKUO EAST AREA	滿洲国東部地域	39 12	122 3	38 38	121 19	180000	1944	2/LC	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-72とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 72	MANCHUKUO EAST AREA	滿洲国東部地域	39 12	122 3	38 38	121 19	180000	1944	2/LC	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-72とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 2	DAIREN AREA	大連地域	39 13	122 0	38 39	121 17	180000	1944	2/LC	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-2とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 2	DAIREN AREA	大連地域	39 13	122 0	38 39	121 17	180000	1944	2/LC	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-2とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 10	DAIREN AREA	大連地域	39 25	117 34	38 51	116 50	180000	1944	2/NARA	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-10とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 10	DAIREN AREA	大連地域	39 25	117 34	38 51	116 50	180000	1944	2/NARA	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-10とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO. 11	TIENSIN AREA	天津地域	39 12	121 56	38 121	13	180000	1944	2/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.12-11とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO. 11	TIENSIN AREA	天津地域	39 12	121 56	38 121	13	180000	1944	2/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.12-11とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 16	DAIREN AREA	大連地域	31 33	121 53	30 59	121 13	180000	1944	3/NARA	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-16とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 16	DAIREN AREA	大連地域	31 33	121 53	30 59	121 13	180000	1944	3/NARA	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.5-16とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
CHINA NO. 108	SHANGHAI AREA	上海地域	31 29	121 49	30 55	121 9	180000	1944	3/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-108とあり、細TCあり。
CHINA NO. 108	SHANGHAI AREA	上海地域	31 29	121 49	30 55	121 9	180000	1944	3/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-108とあり、細TCあり。
CHINA NO. 117	SHANGHAI AREA	上海地域	31 38	121 52	31 4	121 13	180000	1944	3/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-117とあり、細TCあり。
CHINA NO. 117	SHANGHAI AREA	上海地域	31 38	121 52	31 4	121 13	180000	1944	3/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-117とあり、細TCあり。
CHINA NO. 124	SHANGHAI AREA	上海地域	31 32	121 48	30 56	121 8	180000	1944	3/NARA	右にAAF TC CHINA NO. 83.8-124とあり、細TCあり。
CHINA NO. 124	SHANGHAI AREA	上海地域	31 32	121 48	30 56	121 8	180000	1944	3/NARA	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.8-124とあり、細TCあり。
CHINA NO. 127	SHANGHAI AREA	上海地域	36 5	120 18			36000	1944	6/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.11-78とあり、地図は円形、SOURCESの記述あり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO. 127	SHANGHAI AREA	上海地域	36 5	120 18			36000	1944	6/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.11-78とあり、地図は円形、SOURCESの記述あり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.78	TSINGTAO AREA	青島地域	34 44	119 29	40 51	122 35	180000	1944	8/LC	右にAAF TC CHINA NO. 83.11-79とあり、地図は円形、SOURCESの記述あり、NARAIにも所蔵あり。
CHINA NO.78	TSINGTAO AREA	青島地域	34 44	119 29	40 51	122 35	180000	1944	8/LC	上記の裏、右にAAF TC CHINA NO. 83.11-79とあり、地図は円形、SOURCESの記述あり、NARAIにも所蔵あり。
MANCHUKUO NO. 29-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域	41 37	124 9	41 3	123 23	180000	1944	8/LC	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-29とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 29-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域	41 37	124 9	41 3	123 23	180000	1944	8/LC	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-29とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 30-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域	42 8	124 14	41 34	123 28	180000	1944	8/LC	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-30とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 30-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域	42 8	124 14	41 34	123 28	180000	1944	8/LC	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-30とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 40-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域	42 5	123 52	41 31	123 6	180000	1944	8/LC	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-40とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 40-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域	42 5	123 52	41 31	123 6	180000	1944	8/LC	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-40とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 46-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域					36000	1944	8/LC	右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-46とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。
MANCHUKUO NO. 46-SECOND EDITION	MUKUDEN AREA	奉天地域					36000	1944	8/LC	上記の裏、右にAAF TC MANCHUKUO NO. 93.3-46とあり、年月の下に(SECOND EDITION)とあり、細TCあり。

注 緯度のひとはターゲットチャート右上の、ふたつは左の値を示す(No. 78, 79は中心の緯度を示す)。備考の「細TC」は細長いターゲットチャートを指す。

表3.ターゲット・チャート目録2

TC No	図幅名	漢字名	省(市)	緯度(N) 経度(E)	緯度(N) 経度(E)	緯度(N) 経度(E)	緯度(N) 経度(E)	高さ(m)	幅尺	撮影機関	撮影時期 年 月 日	編集機関	撮影時期 年 月 日	備考
1	SAMAH-BAY	三垂湾	海南	18 15 09 25	109 25	46.7	55.8	21st. Photo Ren. Squadron	1943 10 10	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 25			
8	NANCHANG	南昌	江西	28 38 115 52	115 52	57.2	50.8	21st. Photo Ren. Squadron	1943 9 22	21st. Photo Ren. Squadron	1943 12 7			
10	ANKING	安徽	安徽	30 31 117 1	117 1	50.8	57.1	21st. Photo Ren. Squadron	1943 8 19	21st. Photo Ren. Squadron	1943 12 16			
14	HUKOU	汉口	江西	29 45 116 14	116 14	50.7	56.9	21st. Photo Ren. Squadron	1943 10 5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 12 22			
19	SHANGHAI	上海	上海	31 13 121 28	121 28	57.2	50.9	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 21	21st. Photo Ren. Squadron	1944 1 13			
31	NANKING	南京	江苏	32 2 118 47	118 47	57.2	51	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 20	21st. Photo Ren. Squadron	1944 1 16			
17	HONG KONG	香港	香港	22 18 114 10	114 10	50.8	57.2	21st. Photo Ren. Squadron	1943 12 12	21st. Photo Ren. Squadron	1944 1 17			
15	FT Bayard	ハヤール城塞	広東	21 11 110 24	110 24	50.7	50.9	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 1 18			
41	SHIHWEIYAO	石叻崖	海南	30 13 115 4	115 4	50.7	49.3	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 2 3			
54	KUNGHESHAN	覆山	湖北	20 1 110 22	110 22	51.9	45.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 3			
57	TANGYANG	当陽	湖北	30 51 111 41	111 41	57	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 3			
59	SAOKAN	孝感	湖北	30 53 113 52	113 52	57.1	50.8	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 3			
65	WHAMPOA	香港	広東	23 4 113 31	113 31	57	50.8	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 3			
66	SWATOW	汕頭	広東	23 23 116 38	116 38	57	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 3			
68	SHAYANG	沙洋	湖北	30 38 112 37	112 37	56.9	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 3			
69	CHANGKIANGFOW	長江埠	湖北	30 50 113 40	113 40	35.5	23.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 22			
70	WEICHOW ISLAND	魏州島	広西	21 2 109 7	109 7	57	51	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 3 22			
62	SHEKLUNG	石龍	広東	23 6 113 52	113 52	57.3	50.1	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
64	CANTON	広東	広東	23 7 113 30	113 30	57	50.8	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
71	SANGHAI ISLAND	三柱(龍)島	広東	22 2 113 24	113 24	57.1	51	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
76	SINYANG	信陽	河南	32 6 114 5	114 5	57	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
77	SINSIANG	新郷	河南	35 17 113 56	113 56	56.9	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
78	KAI FENG	開封	河南	34 47 114 23	114 23	57	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
79	YELLOW RIVER BRIDGE	黄河橋(鄭州の北西)	河南	34 55 113 33	113 33	57.2	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 4 4			
63	WHITE CLOUD A/D	白雲空港	広東	23 10 113 17	113 17	55.6	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 5 5			
72	HANGCHOW	杭州	浙江	30 20 120 12	120 12	55.7	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 5 5			
90	PO AI	博愛	河南	35 10 113 6	113 6	55.7	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 5 5			
93	CHENGHSIEN	鄭州(鄭州)	河南	34 43 113 41	113 41	55.7	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 5 5			
88	LIN FEN	臨汾	山西	36 5 111 31	111 31	55.6	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 5 5			
96	ANYANG	安陽	河南	36 6 114 22	114 22	55.5	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
99	YUNGHENG A/D	運城 空港	山西	35 1 110 55	110 55	55.6	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
102	AMOY	廈門	福建	24 28 118 4	118 4	56.1	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
103	AMOY A/D	廈門 空港	福建	24 33 118 7	118 7	55.2	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
104	YAIYUAN	太原	山西	37 55 112 33	112 33	55.7	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
105	TAIYUAN SOUTH	南太原	山西	37 47 112 33	112 33	55.7	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
106	HANKOU	漢口	湖北	30 35 114 17	114 17	55.7	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
108	HANKOU-WUCHANG	漢口-武昌	湖北	30 34 114 22	114 22	55.7	50.7	250000	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6		Target Chart No.106の裏。	
107	WUCHANG	武昌	湖北	30 34 114 23	114 23	55.7	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6		Target Chart No.107の裏。	
	HANKOU-WUCHANG	漢口-武昌	湖北	30 34 114 22	114 22	55.7	50.6	250000	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6		Target Chart No.107の裏。	
113A	CHANGSHA	長沙	湖南	28 11 112 55	112 55	55.6	50.4	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
114	YUNGHENG NW A/D	運城 北西空港	山西	35 2 110 53	110 53	55.7	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
115	ANYI A/D	安邑 空港	山西	35 8 110 56	110 56	55.6	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
118	PAILUICHI A/D	白羅鎮 空港	湖北	29 23 113 3	113 3	55.7	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 6 6			
110	LOYANG	洛陽	河南	34 44 112 25	112 25	55.5	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
111	JUNGYANG L/S.	梁陽 補助滑走路	江西	29 48 115 57	115 57	55.7	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
122	ICHINGPU	(不明)	江西	34 46 112 30	112 30	55.7	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
123	PUCHOU A/F	蒲洲 飛行場	山西	34 56 110 17	110 17	55.8	50.7	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
124	PUCHOU A/SATELLITE L/S	蒲洲 西付鳳小滑走路	山西	34 59 110 24	110 24	55.6	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
126	ANKING SATELLITE	安徽 付鳳小飛行場	安徽	30 30 117 2	117 2	55.7	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
127	HSHUOHANG	歙県	浙江	34 0 113 48	113 48	55.4	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 7 7			
130	KINHWA	金華	浙江	29 7 119 42	119 42	55.5	50.4	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
134	HANGCHOW CITY	杭州	浙江	30 15 120 10	120 10	55.5	50.5	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
144	SHIHCHIAHUANG	石家荘	河北	38 3 114 29	114 29	55.6	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
149	YULIN	榆林	陝西	38 17 109 25	109 25	55.4	50.2	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
	SAMAH-YULIN	三垂-榆林	海南	18 17 109 25	109 25	55.4	50.2	250000	21st. Photo Ren. Squadron	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8		Target Chart No.149の裏。 「APPROACH CHART No.618 AⅢ」とあり	
151	MAANSHAN	馬鞍山	安徽	31 43 118 29	118 29	55.5	50.4	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
156	NANKING&PUKOW WHARVES	南京&下関埠頭	江苏	32 6 118 45	118 45	55.6	50.4	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
	NANKING	南京	江苏	32 1 118 48	118 48	55.6	50.4	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
158	TIENTSIN A/F	天津 飛行場	天津	39 5 117 15	117 15	55.5	50.3	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
160	YOSHIN	岳州(岳陽の旧称)	湖南	29 22 113 3	113 3	55.5	50.6	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			
	YOSHIN	岳州(岳陽の旧称)	湖南	29 23 113 3	113 3	55.5	50.6	250000	21st. Photo Ren. Squadron	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			Target Chart No.160の裏。 「A94 CⅢ」とのNo.あり。
161	SIANGTAN	湘潭	湖南	27 50 112 48	112 48	55.5	50.3	21st. Photo Ren. Squadron	1943 11 27	21st. Photo Ren. Squadron	1944 8 8			

